

参考資料：HEAT20 外皮性能グレードに関する資料

これからの住まいに求められることは、高効率な設備機器の賢い選択と、躯体や窓の断熱性・気密性の向上や季節に応じた日射のコントロールなど、住宅外皮をしっかりとデザインすることです。設備機器は一般的に十年から十数年で更新され、更新時に高性能化することが可能ですが、住宅外皮は設備機器に比べると長寿命であり、簡単に性能向上をすることはできません。また、住宅外皮は室内環境に大きく影響を与え、暖冷房設備等の効率やエネルギー消費量も外皮性能によって変わります。

HEAT20 では、省エネルギーと室内温熱環境の質の観点から、今後目標とすべき外皮性能水準（推奨グレード）を提案しています。その試案を、2015年4月発行の『HEAT20 設計ガイドブック』において掲載し、その後さらに検討を加え、改めました。

本コンペの設計条件となっている「G2グレード」は、下表のとおりです。

なお、住宅像や室内温度環境性能の詳細等については、追ってHPにアップします。

■HEAT20 外皮性能グレード：G2

HEAT20 G2	地域区分							
	1	2	3	4	5	6	7	8
U_A 値 [W/(m ² ・K)]	0.28	0.28	0.28	0.34	0.34	0.46	0.46	—
η_A 値 [—]	—	—	—	—	3.0	2.8	2.7	3.2

参考図書：『HEAT20 設計ガイドブック』（発行：株式会社建築技術）

http://www.k-gijutsu.co.jp/products/detail.php?product_id=823